



# 飯田市 歴研ニュース

News Letter

No. **51**  
The Iida City Institute  
of Historical Research

飯田市歴史研究所

〒395-0002

長野県飯田市上郷飯沼3145

TEL 0265-53-4670

FAX 0265-21-1173

E-mail iih@city.iida.nagano.jp



## 歴史研究所 平成23年度の事業概要

### 1 市誌編さん事業

歴史研究所の調査研究活動の成果を集約公開し、この地域の歴史と文化を市民に知ってもらおう取組を行います。

旧飯田町・上飯田町地域の全体的な叙述『飯田・上飯田の歴史』の刊行に向けて、市民の皆さんに御助力いただきながら、執筆・編集活動を進めます。上巻(自然、原始から近世まで)は平成24年9月、下巻(近現代)は平成25年3月刊行を予定しています。

### 2 調査研究事業

資(史)料の現状記録調査、歴史的建造物調査、聞き取り調査(オーラルヒストリー)などを実施し、地域の歴史・文化を解明していきます。市民の皆さんや研究者、大学等の研究機関と協働で行い、その成果を研究集会・年報等で公表していきます。



▲「地域史講座」  
飯田・上飯田の歴史シリーズ  
(平成23年1月15日 羽場公民館)

#### 1 研究成果の公表(刊行物)

- ・歴史研究所年報 9
- ・聞き書き報告集『下伊那のなかの満洲 第9集』
- ・調査報告書『現状記録調査報告書』

#### 2 第9回飯田市地域史研究集会

- ・開催時期：8月27日(土)～28日(日)
- ・テーマ：「戦後復興から高度成長へ  
—日本社会と飯田・下伊那—」
- ・研究集会の目的：戦後から高度成長期の社会と地域の様相を明らかにしていきます。

#### 3 歴史研究活動助成

地域を対象にした研究活動を助成することで人材の育成に努め、研究成果の蓄積を図り、その成果を地域に還元していきます。

#### 4 定例研究会

研究所のさまざまな研究活動を促進するため、研究会を公開で行います。

#### 5 飯田・下伊那の地域史研究において優れた研究や活動を飯田歴研賞として表彰し、地域史研究の底辺拡大と、重層的な文化研究活動の環境を整えます。

#### 6 ふるさと雇用再生特別事業・緊急雇用創出事業による史料調査を進めます。

#### 7 地域伝統文化総合活性化事業

歴史的建造物の調査研究と保存・利活用によって、歴史的な地域資源としての建造物に対する住民意識を高めながら、まちづくりの素材としても再認識できる環境を整えていきます。また、定期的にワークショップを開催します。

### 3 教育事業

市民の皆さんが、自分たちが暮らしている地域を知り、地域を誇りに思う心を培い、人材を育む地域の力を高めていきます。併せて調査研究や教育を行う人材の育成を目指します。

#### 1 地域史講座の開催

飯田・下伊那の歴史を題材とした最新の地域史研究の成果について発表します。(『飯田・上飯田の歴史』刊行に関する調査研究の報告会を開催します。)

#### 2 飯田アカデミアの開催

歴史学を中心とした外部の講師による大学専門課程レベルの学術講座を開催します。

#### 3 歴研ゼミナールの開講

市民が主体的に歴史を学んでいく場として、近世史ゼミ・近現代史ゼミ・思想史ゼミを開講します。

#### 4 情報誌「歴研ニュース」を年6回発行します。

#### 5 学校教育との連携

「職場体験学習」の受け入れや高校生を対象とした歴史学オリエンテーションなどを開催します。

#### 6 地域の団体やサークル、民間の研究グループ等を対象にした講座を開催します。

#### 7 市民研究員の研究活動への助成を行います。



▲高校生の職場体験学習  
古文書の撮影、目録入力作業

### 4 アーカイブズ保存活用事業

地域で育まれてきた歴史・文化の記録は、市民の皆さんにとってかけがえのない貴重な財産であるという観点から、地域に残るアーカイブズ(歴史資料)を収集・保存・公開し、市民の皆さんや研究者が史料を積極的に活用できる体制・環境を整えます。

#### 1 旧役場文書や学校など公的機関の歴史資料の保存・公開・活用

#### 2 市役所の非現用文書の保存

#### 3 私文書の保存・継承の支援及び公開(市民の皆さんがお持ちの古文書・古写真など、歴史資料の情報収集及び史料の調査・保存を行います。)

### 5 施設の利用・広報活動

調査研究によって整理蓄積された収蔵史料や目録などの情報を積極的に公開し、関係図書を整備を行い、市民の皆さんや研究者の閲覧・利用に関するサービス向上を図ります。また、ホームページの充実や広報などを通じ歴史研究所の諸活動を広く紹介していきます。

## 第1回都市調査研究グランプリを受賞

この度、歴史研究所が調査研究事業として継続的に行っている歴史的建造物調査・悉皆調査研究のうち、2006年度から5年間かけて重点的に行った「飯田市域の本棟造と養蚕建築の悉皆的調査研究」が、(財)日本都市センター主催『都市調査研究グランプリ (CR-1グランプリ)』においてグランプリを受賞いたしました。この調査研究は、飯田市域を調査対象地域に、飯田・下伊那地域の「本棟造」と「養蚕建築」を調査研究対象として、約300件の民家調査を行った成果です。

調査にご協力いただいた方々に感謝いたします。



▲本棟造・蚕室長屋を利用した柿簾



▲建造物解体の様子




▲飯田長姫高校建築科学生との調査風景



▲建物見学会

リレーエッセイ



察しても産むは難し  
金澤 雄記 研究員 (建築史)

歴研に着任してから5年間、飯田・下伊那での日々の調査研究や生活を通じて、多くの体験をさせていただきました。ありがとうございました。

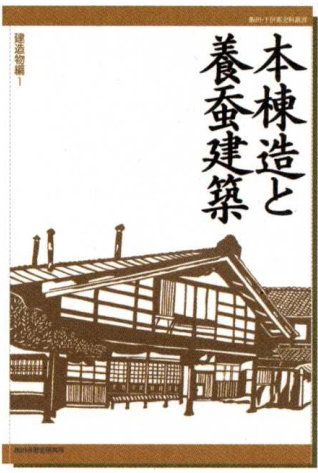
10年ひと昔といいますが、私の滞在した短い間でも大きく風景が変わったところもあります。今後リニア構想が実現すれば飯田市もまた大きく変革を遂げるでしょう。この千載一遇の機会を見守れないのは残念な限りですが、個々があいまいな情報に惑わされることなく、正しい手法を模索して、よりよいまちづくりを行っていただければと切に願います。

振り返ると、何か考えがあってもいつも時間に追われ、形にすることの難しさに翻弄された5年間でした。まだまだしたかったこと、すべきことは多々ありますが、後継者に託し、歴研と飯田市のさらなる発展を願って、お世話になった方々への感謝の言葉と代えさせていただきます。

**新刊紹介**

『飯田・下伊那史料叢書2 建造物編1  
本棟造と養蚕建築』

2011年3月31日刊行  
A4判、496ページ  
定価3500円



本棟造は切妻造妻入、もと石置板屋根の緩勾配屋根、2列3室の間取りを基本とする大型の特徴ある民家形式で、17世紀末～19世紀末の建築です。

代わって明治中期以降、養蚕向きに建築された総二階の主屋や蚕室長屋を養蚕建築と表現します。

どちらも飯田・下伊那地域では身近に見られる建築物ですが、本棟造は全国的にも長野県中南信のみに分布する民家形式です。また養蚕建築は比較的新しい建築であるものの、飯田・下伊那地域は実質1戸あたりの収繭量が全国的にも最多であったという当時の繁栄を色濃く伝える特徴ある建築です。

本棟造はいつの時代のものがどれだけ残っているのか、どんな変化を遂げたのか、真ん中の部屋はなぜ暗いのか、養蚕業が建築にどのような影響を与えたか、そのような身近な建物に対する素朴な疑問を分かりやすく解説しています。巻末には資料として130件分の調査報告書(聞取調査書・写真・図面)を掲載しています。

### 建築史ワークショップ (建築史ゼミ)

■担当 金澤雄記

■開催日 4月13日(水)  
※フィールドワークを行います。  
詳細はお問い合わせ下さい。  
■時間 午後5時～

■開催日 5月10日(火)  
■場所 歴史研究所2階研修室  
■時間 午後7時～8時40分

# 森を眺める

小池 美津貴 (調査研究補助員)

アーカイブズ・カレッジを受講して

アーカイブズとは何ぞやという状態で、昨年の短期アーカイブズ・カレッジ (史料管理学会 国文学研究資料館主催) を受講させていただきました。「あらゆる団体、個人が作成したrecords (記録) の内、永続的な価値を持っているarchives (記録史料) を保存し、現代と未来の社会に生かし続けていくための総合学=アーカイブズ学」という言葉の説明から始まり、各講義ではその奥深い世界を垣間見ることが出来ました。また、アーカイブズ学は土台となった図書館学とは大きく違い、発展中の学問であるのも知りました。

今回の短期コースには現場からの参加が多かったため、「限られた条件の中で日々目の前に生じる問題にどう取り組むべきか」といった実践的な解決が求められ、活気にあふれていました。受講者は主に、1) 記念誌や史誌を作る中で文書館機能を持つに至った団体、2) 博物館機能が強い団体、3) 紙媒体以外の記録物(映画フィルムなど)の散逸を防ぐための団体、などでした。どの団体も膨大な史料を前に、どう調査し、どう保存し、どう公開し、利用にこぎ着けるか、と全ての過程を模索しているようです。一連の過程の担当者が一人という団体も少なくありませんでした。

こうした条件と比して飯田市歴史研究所は恵まれていると感じました。研究という柱があり、一連の過程の方向がはっきりしているからです。ただ、所内全体を把握出来るようなシステムは整っていないため、今までの行われてきた多くの事業は活かされてないのも現状です。

その第一歩としてカレッジで印象的だった言葉を思い出します。「木を見るな、森を見る」つまり、まずは全体をとらえ、地道に細かい部分に向き合っていくこと。そうした活動から生まれた情報を持続的に蓄積し、発信していく。おおらかでどっしりとした姿勢の大切さを学びました。

平成23年3月5日

## 平成22年度歴史研究助成報告会が開催されました。

当日は一般参加者24人を含め熱気にあふれた会場で、2件の助成対象研究報告が行われました。その研究の一つを紹介します。

### 長野原歴史研究会

「小林文次郎氏の

**講評** 『年々収繭代金其の他諸収入及諸費用等抜書』の解説」

これまでの数年間にわたる研究会の基礎を前提に、小林文次郎氏所蔵文書から詳細な分析を中心として、明治中期から昭和初期の繭生産量や価格の動向を明らかにしています。世界の生糸市場や日本全国の繭生産、そして長野原地域の個別経営状況まで連関させ、広い視野から地域史を研究していく方法を提示し、すぐれた成果となっています。また併せて地域における養蚕の現状を紹介し、産業の勃興・発展・衰退が地域の社会構造や家の存立にどのようなかかわるかという、問題提起までに及んでいます。



## 飯田アカデミア 2011

歴史学を中心とした専門研究者を講師にむかえ、最新の研究成果を分かりやすく講義します。2011年度最初の講座のご案内です。

### 第62講座

講師：岡田 知弘さん

(京都大学大学院経済学研究科教授)

テーマ：「地域再生と自治体、住民の役割」

日程：5月28日(土)

地域づくり講演会 10:00~11:30

1コマ目 13:00~14:30

2コマ目 15:00~16:30

会場：飯田市民館 2階

受講料：500円 (資料代)

申込み：電話・FAXまたはE-mailで飯田市歴史研究所へお申し込み下さい。

どなたでも受講できます。多くの方のご参加をお待ちしております。

※諸事情により、日程等が変更になる場合があります。随時、HP・市広報等でお知らせいたします。

## 歴研ゼミ 4月・5月の予定

■場所 歴史研究所 2階研修室 (各ゼミ共通)

日程  
変更

### 近現代史ゼミ

- 開催日 4月 9日・23日  
5月 14日・28日  
(第2・4土曜日)
- 時間 午後5時~6時40分
- 担当 田中雅孝 (調査研究員)

### 近世史ゼミ

- 開催日 4月 5日・19日 / 5月 17日  
(第1・3火曜日)
- ※5月の第1火曜は祝日のため休講です。
- 時間 午後7時~8時40分
- 担当 竹ノ内雅人 (研究員)

### 思想史ゼミ

- 開催日 4月 6日・20日 / 5月 18日  
(第1・3水曜日)
- ※5月の第1水曜は祝日のため休講です。
- 時間 午後7時~8時40分
- 担当 池田勇太 (研究員)

実践的に歴史研究の方法を学ぶ講座です。各ゼミでは随時受講生を受け入れています。

# 定例研究会

研究活動促進のため、定期的に公開研究会を開催しています。

4月28日(木)

上飯田水道物語

講師：池田 勇太 (研究員)

時間：午後2時～4時

場所：歴史研究所2階研修室

# 地域史講座 飯田・上飯田の歴史

5月25日(水)

飯田・上飯田の御用水

講師：竹ノ内雅人 (研究員)

時間：午後7時～9時

場所：羽場公民館2階講義室

## 歴研日誌

2月

- 1/26～2/25 飯田ゆめみらいICTカレッジ職業訓練実習
- 1/28 南信濃基幹センター収蔵庫整備工事着手
- 1日 歴研ニュース50号発行
- 2日 思想史ゼミ「日高六郎編『戦後思想の出發』(2)」
- 5日 飯田アカデミア第61講座「りんご序舎」  
「古代史に関する最近の問題」  
第1日目「万葉歌木簡の発見」  
第2日目「富本銭の鑄造と発行」  
一栄原永遠男さん(大阪市立大学名誉教授)
- 8日 第1回都市調査研究グランプリ表彰式出席  
(金澤研究員)
- 10日 飯田観光ガイドの会研修会現地講義  
「遠州街道(在郷町八幡町)町屋」  
一金澤雄記研究員[八幡町鳩ヶ嶺八幡宮]
- 10日 定例研究会  
「近代日本における国民教化政策と敬神崇祖」  
一南相虎(韓国京畿大学)
- 10日 近現代史ゼミ  
「文献講読『昭和の記憶を掘り起す』」
- 15日 近世史ゼミ「郷宿の調停－『名主休役願』」
- 16～18日 阿智村建物調査
- 16日 依田時子氏聞き取り[松尾]
- 16日 思想史ゼミ「日高六郎編『戦後思想の出發』(3)」
- 18日 蔵書データ化作業に関する打合せ[中央図書館]
- 19日 定例研究会「近現代下伊那農村社会の特質」  
一坂口正彦調査研究補助員
- 23日 上飯田高田家史料調査
- 24日 近現代史ゼミ「報告集『大正13年の  
胡桃澤盛日記と南信新聞』編集」
- 25日 平和資料収集委員会プロジェクト会議出席  
(池田研究員)[教育委員会]

3月

- 1日 近世史ゼミ「飯田萬年記6」
- 2日 思想史ゼミ「日高六郎編『戦後思想の出發』(4)」
- 4日 南信濃基幹センター収蔵庫整備工事竣工
- 4～7日 史料調査(東京大学・東京外国語大学)
- 5日 研究助成報告会[上郷公民館]
- 5日 長野県建築士会「街並みハイク」現地説明会  
「下久堅知久平の本棟造と養蚕建築」一金澤雄記研究員  
行政非現用文書愛宕蔵搬入
- 9日 木下昭郎氏所蔵史料調査・受入[松尾]
- 10日 高田家所蔵史料借用[上飯田]
- 10日 近現代史ゼミ「報告集の製本及び文献講読  
『昭和の記憶を掘り起す』」
- 15日 『飯田・上飯田の歴史』上巻会議[上郷考古博物館]
- 16日 思想史ゼミ「日高六郎編『戦後思想の出發』(5)」
- 17日 近現代史ゼミ「今年度の反省と来年度の計画」
- 19日 建築史ゼミ「森本家住宅の見学」
- 23日 両角寿弥子氏聞き取り[上郷]
- 24日 地域史講座「飯田・上飯田の歴史 大平の開発と発展」  
一清水迪夫調査研究補助員[丸山公民館]  
(財)日本都市センター「都市調査研究」現地調査  
『飯田・上飯田の歴史』下巻研究会[丸山公民館]
- 29日 平和資料収集委員会プロジェクト会議出席  
(池田研究員)[教育委員会]
- 30日 『飯田・下伊那史料叢書2 建造物編1  
本棟造と養蚕建築』刊行
- 31日 金澤雄記(建築史)研究員任期満了退任
- 継続調査 部奈一郎氏所蔵文書、上松家所蔵文書、  
松澤卓治氏所蔵文書、北原嘉雄氏所蔵文書、中原謹司氏史料、  
米山直昭氏所蔵文書、松田初美氏文書、嶋岡和治氏所蔵文書、  
本多広文氏所蔵文書、小林八十吉氏文書、岡島旭氏所蔵文書、  
阿智村伍和木下家文書、下清内路小栗家文書、  
鎮西徹氏所蔵文書、箕瀬上條信彦氏所蔵文書、  
佐々木久孝氏文書、八幡町犬塚家所蔵文書、  
上飯田高田家所蔵文書、木下昭郎氏所蔵文書

## 催事スケジュール

日	月	火	水	木	金	土	
4月						4/1 NL51発行	2
3	4	5 近世史ゼミ	6 思想史ゼミ	7	8	9 近現代史ゼミ	
10	11	12	13 建築史 ワークショップ	14	15	16	
17	18	19 近世史ゼミ	20 思想史ゼミ	21	22	23 近現代史ゼミ	
24	25	26	27	28 定例研究会	29	30	
5月							
5/1	2	3	4	5	6	7	
8	9	10 建築史 ワークショップ	11	12	13	14 近現代史ゼミ	
15	16	17 近世史ゼミ	18 思想史ゼミ	19	20	21	
22	23	24	25 地域史講座	26	27	28 62thアカデミア 近現代史ゼミ	
29	30	31					

開所日 休所日

開所時間 午前9時～午後5時  
休所日 日曜日、月曜日、祝日、12月29日～1月3日